

外務省所管 平成30年度補正予算（第2号）における「個別プロジェクトにイヤマークした任意拠出金」の成果目標一覧
（主にコンセプト・ノートに基づく暫定版）

（注意事項）

- ① 現段階の成果目標は、暫定的に外務省限りで作成したため、今後、相手国政府または国際機関等からの最新の情勢等に基づいた要請により、内容に変更が生じる場合がある。
② 追加予算額は「億円」単位とし、原則としてそれぞれ小数点第2位を四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合計]	成果目標 （暫定版）
アフガニスタン支援	アフガニスタンに関する人道・テロ対策・社会安定化支援	国際連合開発計画（UNDP）[合計85.00億円]	反政府武装勢力等による攻撃等により、治安情勢が極めて不安定な状況にある中、アフガニスタン政府の治安能力の維持及び強化を通じて、治安状況を早急に安定させるべく以下の事業等を実施する。 （1）内務省管轄下のアフガニスタン国家警察及び中央刑務局の職員に対する給与支援 （2）アフガニスタン国家警察官の能力向上に資する訓練事業に対する支援
		国際連合薬物犯罪事務所（UNODC）[合計6.00億円]	アフガニスタンの薬物問題は同国及び周辺国の平和と安定を脅かしており、取締当局関係者を対象としたトレーニングの実施や情報共有を通じて法執行能力を強化し薬物の供給削減に取り組むとともに、薬物依存への予防や治療を支援することを通じて、薬物の需要削減にも取り組む。
		国際連合難民高等弁務官事務所（UNHCR）[合計4.95億円]	アフガニスタンにおける難民・帰還民・国内避難民に対する人道支援を行う。アフガニスタンでは、隣国からの帰還民が流入している中、同時に国内治安悪化と干ばつ等により国内避難民が新たに発生している。保護、受入コミュニティ支援、帰還促進支援等の緊急支援を実施する。
		アフガニスタン復興信託基金（ARTF（世界銀行））[合計2.50億円]	治安悪化による経済低迷が続くアフガニスタンの民生安定化のためには、同国の人口の約6割が従事する農業分野に対する支援が必要不可欠であり、特に2018年初頭以降は干ばつが深刻化しており、農作物や家畜への被害への対応が喫緊の課題となっている。同分野における同国政府の緊急的な取組を支援するため、アフガニスタンにおける農業生産を支える灌漑設備の補修及び開発、畜産の衛生管理及び果樹園整備への技術指導・物資支援等を実施する。
		国際連合世界食糧計画（WFP）[合計1.40億円]	アフガニスタンにおいて、自然災害の被災者を対象に、食料の配布を通じ、食料安全保障の確保及びコミュニティの自然災害に対する強靱性の向上を支援する。
		国際移住機関（IOM）[合計1.05億円]	アフガニスタン周辺国から避難民のアフガニスタンへの帰還が続いている。これらの帰還民は脆弱な環境に置かれているため、安全な帰還の確保のための支援を行う。帰還民への緊急生活支援、健康診断、国境からの移送、再定住先での社会統合支援、専門知識・技能を有する帰還民の帰国・就職支援を通じ、関係国政府機関の人材育成を行う。
		欧州安全保障協力機構（OSCE）[合計0.90億円]	タリバーンをはじめとする反政府武装勢力による攻撃等でアフガニスタン政府軍・警察の死傷者が引き続き累積する等、極めて厳しい治安情勢が継続する中、アフガニスタン国境が密輸や密入国の温床になっている状況に対処するため、同国及び周辺諸国の国境管理能力強化を早急に実施する必要がある。具体的には、アフガニスタン及び中央アジア諸国の国境管理能力向上のため、タジキスタンに所在するOSCEの国境管理スタッフカレッジ（研修センター）において、国境管理に関する各種トレーニングを実施し、アフガニスタンを含む国境管理当局の能力強化を支援する。
		国際連合地雷対策支援信託基金（UNMAS）[合計0.90億円]	アフガニスタン・カンダハール州における対車両地雷及び爆発性戦争残存物の回避教育や除去活動、地雷等除去後の土地における農業を通じた生計支援、現地政府の地雷対応能力の強化を行う。
		赤十字国際委員会（ICRC）[合計0.80億円]	国内避難民を初めとする武力紛争の被害者に対する人道支援を行う。紛争被害者を対象として、食料・生活必要物資支援、経済支援、水・衛生支援、病院・医療センターに対する支援及びリハビリ療法等の緊急支援を実施する。
		国際連合食糧農業機関（FAO）	10県の干ばつ被害を受けた農家や畜産農家に対して、家畜用飼料と牧草種子の配布、家畜の健康管理、水利用イン

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合計]	成果目標 (暫定版)
		O) [合計0. 70億円]	フラの整備, 災害リスク低減のための訓練を実施する。
		国際連合児童基金 (UNICEF) [合計0. 70億円]	アフガニスタンにおいては, 武力衝突, 自然災害等により, 多くの国内避難民が発生し, これにパキスタンからの大量の帰還民も加わって, 深刻な人道危機を引き起こしている。2017年から2018年にかけて15万人以上が家を追われ, 75万人以上が深刻な水不足状態にあるなど, 状況は危機的である。本支援では, 教育, 水・衛生に係る支援等を行い, アフガニスタンにおける厳しい人道状況の改善を図る。
		国際連合人間居住計画 (UN-HABITAT) [合計0. 61億円]	アフガニスタンにおいて主要都市で国内避難民, 帰還民, 脆弱性の高い女性を中心とした貧困層を雇用し, 廃棄物管理の改善, 都市の美化及び緑化を行う。
		世界保健機構 (WHO) [合計0. 40億円]	アフガニスタンにおいて, 武力紛争や自然災害の影響を受けた市民に対して, 緊急に必要な保健医療サービスを提供する。
		国際連合人道問題調整事務所 (UNOCHA) [合計0. 20億円]	アフガニスタンにおいて, 深刻な人道状況におかれている避難民や脆弱な人々を支援するため, 国連機関, 国内外NGO, ドナー等が実施する人道支援の総合調整 (最新の人道状況に関する情報収集・分析・発信, ハザードマップ・リスクマップの策定, 関係者の能力強化等) を行う。これらの活動により, 避難民や脆弱層, 被災コミュニティに対する, ニーズに応じたより効果的な人道支援の迅速な提供を支援する。
		国際連合訓練調査研究所 (UNITAR) [合計0. 10億円]	アフガニスタンの政府, 市民団体及び教育機関より女性代表者を招へいし, マルチステークホルダー連携と女性のリーダーシップの役割の重要性等について学ぶ。本件事業ではプロジェクト策定に関わる枠組みや各国のベストプラクティスを学びつつ, 説明責任や包括的な社会参画に関する意識向上も図り, ガバナンスの改善や現場のニーズへの対応, ジェンダーに配慮した政策の推進など, アフガニスタンが抱える復興のニーズに貢献する。